科目区分・科目名	基礎分野：倫理学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師
科目目標： １．倫理学の概念を理解できる。 ２．生命倫理の基礎にふれ、自ら考えようとする姿勢を身につける。	

授業計画

回	**内　　容**
1	イントロダクション　倫理学の概念
2	倫理学の代表的立場（1）：功利主義
3	倫理学の代表的立場（2）：義務論
4	倫理学の代表的立場（3）：徳倫理学
5	権利と義務：人権の擁護について
6	生命倫理の概念と問題（1）：医療倫理の四原則
7	生命倫理の概念と問題（2）：パターナリズムとインフォームド・コンセント
8	生命倫理の概念と問題（3）：終末期医療〔1〕
9	生命倫理の概念と問題（4）：終末期医療〔2〕
10	質問への回答とその他の倫理理論
11	生命倫理の概念と問題（5）：生殖医療 〔1〕
12	生命倫理の概念と問題（6）：生殖医療〔2〕
13	生命倫理の概念と問題（7）：再生医療
14	質問への回答とケアの倫理
15	まとめ
評価方法	筆記試験、成果物
テキスト	なし

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	基礎分野：哲学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師

科目目標： １．哲学思想にみられる様々な人間観を通して、人間の在り方の諸相に対して理解を深める。
２．哲学特有の考え方に習熟し、自ら哲学する精神を身につける。

授業計画

回	**内　　容**
1	哲学とは何か
2	哲学的思考の訓練：必要条件と十分条件。逆、裏、対偶。
3	哲学的思考の訓練：演繹
4	哲学的思考の訓練：仮説形成
5	哲学的思考の訓練：質問や反論の仕方
6	哲学的思考の訓練：類比論法
7	哲学的思考の訓練：誤謬推理
8	心身問題①：心身二元論
9	心身問題②：物的一元論
10	心身問題③：心的一元論
11	「私」というものについて
12	人間の自由について①：私たちは自由なのか
13	人間の自由について②：個人の行動に対する環境の影響
14	人間の自由について③：個人の自由と社会
15	人間の自由について④：自由の逆説性
評価方法	筆記試験（１００％）
テキスト	仲島ひとみ（著）　野矢茂樹（監修）『大人のための学習マンガ　それゆけ！論理さん』 筑摩書房

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）
初回の講義の前に、教科書を、最初から第３章「違う、そうじゃない！」まで、読んでおいてください。

科目区分・科目名	基礎分野：論理学
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師
科目目標：１．論理的な考え方、論理的な表現方法を学び、論理的に思考する力を身につける。	

授 業 計 画

回	**内　　容**
１	１．論理的に考えることと表現することの必要性
２	２．批判的思考
３～６	３．文章の読み方
７～９	４．文章表現の基本的ルール
１０～１２	５．論理的思考と表現
１３	６．討議法
１４	７．討議法の実際
１５	まとめ
評価方法	筆記試験、成果物
テキスト	なし

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	基礎分野：情報科学
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	１年次　前期・後期
単位数（時間）	２単位（４５時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師

科目目標： １．情報社会における情報管理が理解できる。
２．基本的な統計データの整理の仕方、統計資料の読解の方法が理解できる。
３．医療と看護における情報処理システムの役割を理解し、コンピュー及びネットワークを活用する能力を習得できる。

授 業 計 画

回	**内　　容**
１	１．情報科学の概要：　情報と情報処理
２～４	２．社会と情報
５	３．コンピューター・リテラシー：　　コンピュータの階層構造等
６	４．コンピューター・リテラシー：　　情報処理の階層化と学習機能
７～１０	５．情報ネットワークとインターネット
１１	６．応用ソフト紹介：文書処理、画像処理、プレゼンテーション等
１２～１６	７．情報科学と医療及び看護
１７～２１	８．統計学 （１）統計処理のための基本的な概念 （２）記述統計　　計量データの記述、表計算ソフトによる数値処理 （３）表計算ソフトによるグラフ処理 （４）推測統計、仮説検定
２２～２３	演習・まとめ
評価方法	授業のミニレポートや試験、課題レポートで評価する
テキスト	椎橋 実智男著　看護・医療系のための情報科学入門　サイオ出版 参考資料：授業のページ　https://cs-yasue.sakura.ne.jp/

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）
各自、USB メモリを持参のこと（ 一括購入の予定 ）

科目区分・科目名	基礎分野：物理学
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師
科目目標：１．人間の生活や医療・看護における物理現象を理解できる。	

授 業 計 画

回	**内　　容**
１	１．「物理学」を学ぶための準備（単位、速度、加速度）
２～５	２．運動と力 （１）力と加速度、重力、ニュートンの運動法則、運動量と力積 （２）力のつりあい、抗力、力のモーメント、仕事とエネルギー （３）エネルギー、エネルギー保存則、位置エネルギー、運動エネルギー （４）圧力、浮力、サイフォンの原理
６～８	３．熱 （１）温度と熱量、ジュールの実験 （２）固体・液体・気体、ボイル・シャルルの法則 （３）状態方程式、分子運動論、内部エネルギー （４）熱機関、エントロピー （演習）
９～１０	４．音と光 （１）波、横波、縦波　ホイヘンスの原理 （２）超音波エコー、オキシメータ
１１～１３	５．電気と磁気 （１）電気、静電気、電気の世界 （２）電流と抵抗　オームの法則、ジュール熱 （３）磁気、電磁波、MRI
１４	６．放射線 （１）半減期、放射能
１５	まとめとプレテスト
評価方法	筆記試験、授業態度
テキスト	系統看護学講座　基礎分野　物理学　医学書院
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	基礎分野：心理学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師
科目目標： １．心理学の理論や基本的な技法を理解できる。	

授 業 計 画

回	**内　　容**
１	心理学ガイダンス 「心」を考える
２～５	１．人格 （1）「無意識」を考える （2）「個性」を考える （3）「異常」を考える （4）心理療法について学ぶ
６～７	２．感覚・知覚・認知 （1）「感じる」を考える （2）「わかる」を考える
８～９	３．学習・記憶 （1）「学習」を考える （2）「記憶」を考える
１０～１２	４．感情・生理： （1）「脳」を考える （2）「心と身体」を考える （3）「感情の機能」を考える
１３～１４	５．コミュニケーション・文化 （1）「人間関係」を考える （2）「協力」を考える
１５	まとめ：　今年度の「心理学」を振り返る
評価方法	筆記試験、レポート
テキスト	東北大学心理学講座編　心理学の視点 25　国際文献社

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

毎回の授業でレポートの提出を求める。筆記試験に加え、レポートが成績に直結する。出席の有無自体は成績に影響しない。レポートの後日提出は可能である。

科目区分・科目名	基礎分野： 人間関係論
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	３０時間
担当講師 **（＊印:実務経験有）**	非常勤講師

科目目標： １．人間関係の基礎的知識を理解できる。
２．集団、家族における人間関係を理解できる。
３．コミュニケーション能力を高めるための基本的な方法を理解できる。

授 業 計 画

回	**内　　容**
１	１．人間関係の中の自己と他者
２	２．対人関係と役割
３	３．態度と対人関係
４	４．集団と個人
５～７	５．人間関係をつくる理論と技法：　コミュニケーション
８～１０	６．人間関係をつくる理論と技法：　カウンセリング
１１	７．人間関係をつくる理論と技法：　コーチング
１２	８．人間関係の理論と応用：人間関係に関する研究
１３～１５	９．人間関係の理論と応用：患者を支える人間関係
評価方法	筆記試験　成果物
テキスト	系統看護学講座　基礎分野　人間関係論　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	基礎分野： 社会学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　前期
単位数（時間）	３０時間
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師

科目目標：１．地域社会の特徴と存在する問題を理解できる。
２．地域社会と医療を関連付けながら理解し、問題・解決策を考察できる。

授 業 計 画

回	**内　　容**
1	社会学とは何か？―社会学的想像力
2～4	社会学のものの見方
5～7	家族と社会 ⑴ 家族の機能、家族の変化 ⑵ 結婚、出産の現在 ⑶ 不可視化される貧困
8～15	医療と社会 （１）病人役割、医師役割 （２）生活者としての患者 ⑶ 患者―医療者のコミュニケーション ⑷ 医療とジェンダー ⑸「死」をめぐる議論 ⑹ 地域医療 ⑺ 医療と異文化
15	まとめ
評価方法	成果物
テキスト	系統看護学講座　基礎分野　社会学　医学書院 参考文献：『歴史と理論からの社会学入門』ナカニシヤ出版. 『医師・医学生のための人類学・社会学ー臨床症例／事例で学ぶ』 ナカニシヤ出版.

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

配布する資料に基づき授業を進めます。毎回、授業終了時にはコメント提出を求めます。興味深い質問やコメントについては次回授業の冒頭に時間をとって解説します。

授業の理解を深めるため、日頃からテレビや新聞記事などのニュースに触れ、社会の中で起こっている出来事に関心を寄せるようにして下さい。

科目区分・科目名	基礎分野：教育学
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師

科目目標： １．教育における基礎的知識を理解できる。
２．教育と看護との関連について理解できる。

授 業 計 画

回	**内　　容**
１	１．教育とはなにか
２～９	２．人間の発達と教育 （１）乳幼児の発達と保育・教育 （２）社会性の発達と教育 （３）言葉の発達と教育 （４）認識の発達と教育 （５）遊びと学び （６）道徳性の発達と教育
１０～１３	５．教育と看護の関連 （１）発達障害 （２）特別支援教育 （３）カウンセリングマインド （４）教育と看護
１４～１５	６．現代教育の課題
評価方法	筆記試験、成果物
テキスト	なし

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	基礎分野：英語
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	２年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師

科目目標： １．医療・看護に関するボキャブラリーを増やし、読解能力を向上できる。
２．記事やエッセイを英文で読み医学や看護に関する興味を深め、知識を広げる。

授 業 計 画

回	内　容
１	Introduction （授業の全般的説明） Body Parts: External & Internal （体の部位：外部&内部）
２	Unit 1. Meeting Patients （患者登録と生活習慣アンケートをする）
３	Unit 2. Taking a Medical History （病歴および健康状態を把握する）
４	Unit 3. Assessing Patients' Symptoms （病状や症状をアセスメントする）
５	Unit 4. Taking Vital Signs （バイタルサインを確認する）
６	Unit 5. Taking a Specimen （検体を採取する）
７	Unit 6. Conducting Medical Examinations （検査の注意や指示をする）
８	Coffee Break 1, 2 & Essay 1, 2 （家系図と続柄、道案内の英語、飲み物の効能）
９	Unit 7. Assessing Pain （疾病・負傷による痛みをアセスメントする）
１０	Unit 8. Advising about Medication （処方された投薬についてアドバイスする）
１１	Unit 9. Improving Patients' Mobility （体の機能回復を介助・援助する）
１２	Unit 10. Maintaining a Good Diet （栄養と食餌についてアドバイスする）
１３	Unit 11. Caring for Inpatients （入院患者のケアをする）
１４	Unit 12. Coping with Emergencies （緊急事態に対処する）
１５	Coffee Break 3 & Essay 3 （病院の予約、オーガニック食品）& 授業のまとめ
評価方法	期末試験 50%、小テスト 30%、平常点 20%とし、総合的に評価します
テキスト	Caring for People 医療分野で働くためのコミュニケーションコース Michiko Mayuzumi 他 著　CENGAGE Learning　ISBN: 978-4-86312-256-7

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	基礎分野：英会話
授業形態	講義・演習
履修年次・時期	３年次　前期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当教員 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師
科目目標： １．医療場面で役に立つ実践的な英会話を習得できる ２．自分の考えを英語で表現できる	

授 業 計 画

回	**内　　容**
１～15	Unit1　I'm your primary nurse. Unit2　I'd like to ask you some question. Unit3　What is worrying you the most? Unit4　Let me show you around the word. Unit5　Let's make a care plan. Unit6　What is 'informed consent'? Unit7　What kind of pain is it? Unit8　We'll do some tests. Unit9　Let's start your treatment. Unit10　Please take this medicine. Unit11　I'm sure the results will be good. Unit12　Now, you can leave the hospital.
評価方法	筆記試験　実技
テキスト	中西睦子監修　耳から学ぶ楽しいナース英語　講談社
備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）	

科目区分・科目名	基礎分野：文化人類学
授業形態	講義
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（１５時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師

科目目標： １．世界各地の文化や風習の理解を通して、人間の暮らしへの関心を深める。

授 業 計 画

回	**内　　容**
１～２	１．人間と文化
３	２．人生と通過儀礼
４～５	３．宗教と世界観
６	４．健康と文化
７～８	５．いのちと文化
評価方法	筆記試験　成果物
テキスト	系統看護学講座　基礎分野　文化人類学　医学書院

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

科目区分・科目名	基礎分野：保健体育
授業形態	講義・実技
履修年次・時期	１年次　後期
単位数（時間）	１単位（３０時間）
担当講師 **（＊印：実務経験有）**	非常勤講師（＊）
科目目標： １．運動の意義を知り、身体を動かすことの楽しさを味わうとともに体力の増強を図る。 ２．集団でのリーダーシップやメンバーシップを身につける。	

授 業 計 画

回	内　　容
１～１５	１．ガイダンス【講義】 ２．運動と健康【講義】 （１）運動の意義　（２）運動と健康の関連 ３．運動と指導【講義】 （１）運動と心理　（２）運動学習と運動制御 ４．準備・整理運動【実技】 ５．バランスを取る運動①【実技】 ６．バランスを取る運動②【実技】 ７．投げる運動①【実技】 ８．投げる運動②【実技】 ９．走る運動①【実技】 １０．走る運動②【実技】 １１．跳ぶ運動①【実技】 １２．跳ぶ運動②【実技】 １３．打つ運動①【実技】 １４．打つ運動②【実技】 １５．まとめ
評価方法	実技評価４５％、課題４０％、出席状況１５％で評価する。
テキスト	なし

備　考（受講生にのぞむことや受講上の注意点）

①運動に適した服装で受講すること。

②怪我の防止のため、ピアス、ネックレス、ブレスレットなどの装飾品は外して受講すること。